

令和6年度 こども園評価書

1 施設の概要

施設名	東かがわ市立丹生こども園	園長	箕野 由美子
住所	〒769-2515 東かがわ市町田182番地1	TEL	0879-25-4804
HP		E-mail	mlw4007@city.higashikagawa.lg.jp

園児数 学級数 (R6.5.1)	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	2名	9名	12名	13名	15名	18名	69名
	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	6学級

職員 (R6.5.1)	園長	副園長	保育教諭	保育教諭 補助員	庁務員
	1名	1名	18名	3名	1名

園教育 ・保育 目 標	心身ともに健やかで たくましく生きる 丹生っ子の育成
経営の重点	1 基本的な生活習慣の定着を図りながら、健やかな心と体の育成に努める。 2 様々な体験活動を通して、豊かな心や感性を育てる。 3 職員の資質向上及び研修方法の見直しを図る。
指導の重点	1 家庭の実情に寄り添った方法で基本的な生活習慣の定着を図り、健やかな心と体の育成に努める。 2 地域や保護者と連携し、様々な人との関わりや活動を通して豊かな心が育めるようにする。 3 職員の研修方法の見直しや効率化を図りながら職員同士の学び合いに取り組む。

2 園教育評価

	評価項目	自己評価	園関係者評価
確かな学びの定着	◎基礎的・基本的な学力定着、伸長のための適切な指導が計画的に行われているか。		
	子どもの年齢や発達に応じた教育・保育計画であるか。	A	A
	子どもの興味・関心・意欲を大切に、主体的に関われる環境を考えた教育・保育が行われているか。	B	
	子ども一人一人の理解に努め、思いや考えを大切にしたり関わりをしているか。	A	
	自然・人・物など様々なことに触れ、豊かな体験の場の充実が図られているか。	A	
心豊かな温かい人づくり	◎豊かな心を育み、正しい規範意識と生活習慣を身に付けた子どもの育成が図られているか。		
	子どもが遊びや生活の中で、善悪の判断や思いやりの言葉等の規範意識を養えるような関わりができていくか。	B	A
	基本的生活習慣の確立に向けた取組の工夫をしているか。	A	
	保育者が子ども一人一人の気持ちや思いを受け止め、寄り添う関わりをしているか。	B	
	地域交流や園外保育を通して、地域の良さに気付いたり、人と関わったりしながら豊かな心を育むことにつなげられたか。	A	
たくましく生きる力の育成	◎様々な体験を通して、心身ともに健康でたくましく生きる力を培うことができているか。		
	食物への興味・関心をもち、食べる楽しさを感じられる関わりや環境構成に努め、食育の推進が図られているか。	B	A
	体を動かす心地よさや、達成感が味わえるような関わりと環境構成に努め、自ら体を動かそうとする意欲が育つよう取り組んでいるか。	A	
	安全な生活や交通安全の意識を高めるための取組を計画的に行っているか。	A	
	個々の家庭と連携し、子どもの実態や年間計画に沿って基本的生活習慣の定着を図っているか。	A	
教職員組織と研修	◎教育・保育課題を達成するため教職員組織や指導力を向上させるための研修内容になっているか。		
	園内外の研修を通して自分の保育を振り返り、子どもの人権を尊重する関わりに努めているか。	A	A
	一人一人の子どもを全職員で把握し、個々に応じた支援に取り組んでいるか。	A	
	園内研修の内容や進め方が、子どもへの関わり方や環境構成の学びとなり、保育実践に生かすことができているか。	B	
	外部指導者による研修に取り組み、職員の専門性の向上に努めているか。	A	
教職員の働き方改革	◎教職員のワーク・ライフ・バランスを考慮した業務の適正化等が図られているか。		
	バランスのとれた園務分掌組織や職員体制を整備し、職務の負担を軽減する業務改善が進められているか。	B	B
	園内行事を見直したり、事務処理の時間を確保したりして職務の効率化に努めているか。	B	
	回覧やホワイトボード等を使って伝達事項の周知を行い、共通理解に努めているか。	A	
	園内研修や職員会は、時間を決めたり考えをまとめて参加したりして効率よく行えるよう努めているか。	A	

保護者・地域との連携	◎園教育の充実のために保護者や地域との連携協力が図られているか。		
	園便り、クラス便り、写真掲示、園新聞等を通して園からの情報を分かりやすく公開しているか。	A	A
	職員は、保護者の子育ての悩みや相談に応じたり、共に成長を喜び合ったりして適切な対応に努めているか。	B	
	地域や保護者の協力を得て、子どもたちが豊かな体験ができるような活動が実施できたか。	A	
	支援センター活動は、地域の子育て支援につながる計画・実践となっているか。	A	
施設・設備	◎園児が安全に楽しい学校生活を送れる施設・設備になっているか。		
	園内環境の安全点検を実施し、見直したり、修理・修繕を行ったりしているか。	A	A
	避難訓練を実施し、見直しをしながら職員の危機意識の向上や、不審者・災害時に適切に対応できる環境整備に努めているか。	A	
	清掃や緑化に努め、衛生的で機能的な環境の保持に努めているか。	A	

評価 [A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや改善の必要がある D：改善の必要がある]

3 成果と課題 [○成果 ●課題]

- 生活習慣の改善について、家庭と連携して取り組めるよう生活調べの内容を工夫したことで、生活習慣の見直しや家庭で親子でふれあう時間の確保につながった。
- 地域交流では、実施方法を見直し工夫しながら進めたことで、子どもと地域の方の双方がより親しみをもつことができ、豊かな心の育成につながる体験活動となった。
- 園内外の研修での学びを、年齢に応じた環境構成や関わり、個々の支援に生かすことができ子どもの成長につなげることができた。
- 保護者は基本的な生活習慣の大切さを理解して生活調べに取り組むことができているが、生活習慣の定着につなげていけるように家庭と連携して進められる方法を検討していく必要がある。
- 園行事の内容は、子どもの豊かな心の育成につながるものを継続していくが、職員の負担軽減にも考慮していく必要がある。
- 園内研修は、職員の課題解決につながる内容や方法を検討していく必要がある。

4 来年度の経営の重点

- 基本的な生活習慣の定着を図りながら、健やかな心と体の育成に努める。
- 様々な体験活動を通して、豊かな心や感性を育てる。
- 職員の資質向上につながる研修の内容や方法を見直す。

5 来年度の指導の重点

- 家庭と連携しながら基本的な生活習慣の定着を図り、意欲や自信をもって活動できる子どもの育成に取り組む。
- 園行事の内容や方法を見直しながら地域や保護者と連携した活動を計画し、子どもの豊かな心が育めるような実践に取り組む。
- 研修方法の見直しや効率化を図りながら職員同士の学び合いに取り組む。